

# ほんまち

2 月 園だより

令和3年 1 月 2 9 日

渋谷区立本町幼稚園発行

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/hon-yo>

## 歌声を響かせたい♪

園長 森山未来

まだまだ、冷たい北風が吹く日もありますが、少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。幼稚園の桜の木のつぼみが膨らみ始め、春に向けて着々と準備を進めていることが分かります。暦の上では、2月3日には「立春」を迎えます。今年の「節分」は、例年の2月3日ではなく、1日早い2月2日となります。これは、地球が太陽を1周する公転の周期と1年の長さにずれが生じているためだそうで、節分が2日になるのは、1897年（明治30年）以来、124年ぶりのことだそうです！幼稚園では、今年の暦に合わせて、2日に節分の豆まきを行う予定です。本町幼稚園の豆まきは、自分たちが作った鬼の面を付けて、各組が鬼役を交代して豆を投げ合います。毎年、個性豊かな表情の鬼たちが、園庭中を右往左往と動き回ります。人間に襲いかかってくるおどろおどろしい逸話からは程遠い、かわいらしい小鬼たちが出現します。「今年も来たね！」と、この節分の行事の度に微笑ましく思います。今年は、例年以上に子供たちが健やかに笑顔で過ごせるように…と祈りを込める節分となることでしょうか。あらゆる患難から護られて、伸びやかにたくましく育っていくことをみんなで願いたいと思います。

さて、今、2回目の緊急事態宣言が発出され、これまで当たり前だった幼稚園での活動が、様々な制約により見直しや組み替えを迫られています。その一つ、「歌唱を控える」という内容に、改めて飛沫による影響が大きいことを思われ、一方で、歌うことで得られる弾む気持ちや喜びを子供たちから奪いたくないという強い思いが湧いてきました。そこで、自然に囲まれた園庭で、伸び伸びと手を広げて距離を取り、空を仰いで、思い切り大きな声で歌うことにいたしました。以前から、本町幼稚園では、保育室で歌う歌声が外の通りにまで流れていき、訪ねてくるお客様が「歌声が響く幼稚園」と表現してくださることがありました。今、青空の下で、子供たちが歌い上げる歌声は、全員の声が重なり合って本当に素敵に響いています。声の重なりは、調和そのものです。年長すみれ組は、手話で「にじ」を歌っていますが、♪にじが にじが 空に架かって 君の君の気分も晴れて きっと明日はいい天気 きっと明日はいい天気♪という歌詞を友達と共にしみじみと歌い上げる姿に、年長組としての充実感が伝わってきます。歌うことが本当に好きなのだということも表情に表れています。皆さんも、きっとこの歌声を聞いたら、心を覆う雲が晴れて、塞ぐ気持ちがふわっとほぐれ、背中を支えられることでしょうか。コロナ禍だからこそ、響かせたい歌声です。

子供たちの進級・修了まで、残すところ2か月。登園日数は約30日となり、一日一日が貴重な時間となってまいりました。園の行事や活動をできる限りの対策を講じて行い、子供たちの豊かな園生活が実現するように工夫してまいります。2月6日に予定していた発表会は、直接の参観はしていただけないですが、子供たちらしい様々な表現を園で記録して、皆様にご覧いただけるようにいたします。私たちにとって、初めての挑戦となりますが、子供たちの発想や思いがけない新たな一面にドキドキさせられっ放しです。保護者の皆様もどうぞ楽しみにしててください。

